第１号様式（第７条関係）

記入例

令和６年度　海老名市市民活動推進補助金交付審査申込書

年　　月　　日

海老名市長　殿

申込者　所　在　地　　海老名市勝瀬１７５－１
名　　称　　〇〇〇〇の会
代表者氏名　　海老名　太郎

次の事業について、補助金の交付を受けたいので、海老名市市民活動推進補助金交付要綱第７条の規定により審査申込します。

①事業の区分 入門編（上限１０万円）・充実編（上限２０万円）・自立編（上限３０万円）	
②事業の名称 事業の内容や目的が分かりやすい名称をつけてください。 （例）〇〇〇〇啓発活動事業、〇〇講習会　など	
③事業費総額 第２号様式　支出の部「支出合計(B)」　円	④補助金交付審査申込額 ③のうち、補助金の交付を受けたい金額　円
⑤補助金の使途 補助金の使用用途を記入してください。（手引き P.6 参照） 例）謝礼、旅費、食糧費、印刷製本費、使用料、賃貸料、通信運搬費、消耗品費、備品購入費	
⑥現状の課題と事業目的 どのような問題の解決を目指して事業を実施するのか、記入してください。	
⑦事業内容 事業の内容（日時、場所、参加費、定員、講師名など）を記入してください。 ※書ききれない場合は、資料を別にご準備いただいても構いません。 （例） 日時：11 月下旬、場所：市民活動センタービナレッジホール、参加費：300 円、 定員：100 名、講師（案）：〇〇　〇〇氏、その他：講演会の後、情報交換会を実施する。	
⑧事業を実施することによる効果 事業を実施することで、参加者がどのような利益や効果を得られるか記入してください。	

⑨前年度と比較し、拡充・縮小した内容　※前年度に実施している場合に記入

・この補助金を交付されることで、何ができるようになるか
・活動を更に軌道に乗せるため、どのような内容を実施するか
・過去の実施に比べて、どのように事業を発展させるか
（例）
　・チラシの枚数を増やすことで、団体及び事業の認知度向上を図る。
　・これまでビナレッジの会議室で開催していたが、定員数を増やすため文化会館の小ホールで開催する。

事業の実施スケジュール

年　月　日	内　　容
令和６年６月	第１回実行委員会
令和６年７月	会場手配
令和６年８月	市の広報（市民のひろば）へ掲載や市コミセンへの掲示依頼
令和６年９月	第２回実行委員会
令和６年 10 月	第３回実行員会、出演講師との打合せ
令和７年２月	事業実施（下旬）

⑩事業実施体制

実施する事業について、団体の組織体制、ＰＲ方法、講師の選定方法、事業会場の設定方法などを記入してください。
また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策についても記入してください。

⑪今後の展望

今後、審査申込事業や団体の活動を、どのように進め、広げていくのか記入してください。

添付資料

1　海老名市市民活動推進補助金収支予算書（第２号様式）
2　海老名市市民活動推進補助金審査団体の概要書（第３号様式）
3　団体の規約、会則又は定款又はこれに類するもの
4　団体の役員名簿又はこれに類するもの
5　団体の活動が分かる会報等

第２号様式（第７条関係）

記入例

令和６年度　海老名市市民活動推進補助金収支予算書

事業名称　●●●●啓発活動事業

団体の年間活動予算等ではなく、審査申込をする事業についての予算を記入してください。

１　収入の部　（単位　円）

科目	予算額	説　明
収入合計（A）		

科目（参加費、協賛金、寄附金、繰越金、海老名市市民活動推進補助金　など）毎に記入してください。

※補助金の額は、第１号様式「④補助金交付審査申込額」と同額になるように記入ください。
※事業を実施する際には、団体の自助努力が必要です。補助金以外で、収入を得られるような工夫を十分検討してください。

２　支出の部　（単位　円）

補助金の充当	科目	予算額	説　明
支出合計　（B）			

審査申込事業の支出の内訳を経費ごとに分けて記入してください。

例）科目欄　・・科目（謝礼、旅費、食糧費、印刷製本費、使用料、賃貸料、通信運搬費、消耗品費、備品購入費　など）を記入
※補助金を充当する場合は、「補助金の充当」欄に〇をつけてください。
予算額欄・・科目ごとの金額を記入
説明欄　・・詳細（用途、単価、内訳、計算方法等）を記入

＜ポイント＞
講師料や会場費など、絶対に必要となりえるものを中心に、補助金を充当するように検討してください。その他、手引きＰ．６の「対象経費」をよくご確認ください。

※補助金を充当する科目は、「補助金の充当」欄に〇印を付けてください。

３　収入合計（A）－支出合計（B）＝　0　円

予算書の段階では、余らせたり足りなくなったりすることがないようにしてください。

第２号様式（第７条関係）

令和６年度　海老名市市民活動推進補助金収支予算書

事業名称　●●●●啓発活動事業

１　収入の部　（単位　円）

科目	予算額	説　明
会員費	●●円	会員●名×●●円（年会費とは別に、この事業のために徴収）
参加費	●●円	参加者●名×●●円
海老名市市民活動推進補助金	●●●円	
収入合計（A）	●●●円	

２　支出の部　（単位　円）

補助金の充当	科目	予算額	説　明
○	講師謝礼	●●円	
○	講師交通費	●●円	片道●●円（往復●●円）
	印刷費	●●円	事業広告チラシ（50 円/1 枚×●●枚）
	会場利用料	●●●円	えびな市民活動センタービナレッジ１階ホール（1,500 円/h×●h）
○	当日配布資料	●●円	50 円/1 枚×●枚×●部
○	通信費	●●円	参加チケット郵送代（80 円×●名）
支出合計　（B）		●●●円	

※補助金を充当する科目は、「補助金の充当」欄に○印を付けてください。

３　収入合計（A）－支出合計（B）＝　０円

第３号様式（第７条関係）

記入例

令和６年度　海老名市市民活動推進補助金審査団体の概要書

団体名称	
①所在地 （運営拠点）	〒 住所 TEL　　FAX E メール ホームページ
②連絡担当者及び連絡先 （日中の連絡先）	担当者氏名　　（役職　　） TEL　　FAX E メール 郵便物送付先住所 〒　　住所
③設立年月日	年　　月　　日（法人格取得年月日　　年　　月）
④設立目的・経緯	団体を設立した経緯、目的、きっかけ等を記入してください。
⑤主な活動内容	日頃の団体の活動内容（講演会や情報交換会の頻度や回数、どのような会員が活動しているか など）を記入してください。
⑥主な活動場所	普段、団体の活動をしている施設や場所等を記入してください。
⑦活動実績 （過去２年以内の主な活動実績）	過去２年で、団体がどのような活動をしていたかを記入してください。 ※設立から２年未満の場合は、過去１年間で構いません。

⑧会員数	個人会員　　人（うち海老名市民　　人） 団体会員　　団体　各団体の規定にあわせた表記で記載してください。

⑨最新の決算状況	収　入	支　出
	会費　円 （内訳） 一般会員や賛助会員等からの会費	※内容を簡潔に記入 ・　円 ・　円 ・　円
	事業収入　円 （内訳） 参加費や事業への寄附金など。	・　円 ・　円 ・　円 ・　円
	助成金・補助金　円 （内訳） 前年度に当補助金を受けていたら、交付額（他の補助金等も記入する。）	・　円 ・　円 ・　円 ・　円
	その他　円 （内訳）	・　円 ・　円 ・　円 ・　円
	合計　円	合計　円
	決算期間　　年　　月　　日　～　　年　　月　　日	

支出の内訳を具体的に記入してください。

例）
謝礼、旅費、食糧費、印刷製本費、使用料、賃貸料、通信運搬費、消耗品費、備品購入費　等

※次年度への繰越金等も、あれば記入してください。

※最新の決算から繰越金がある場合は、収入の「その他」に含め、内訳欄に金額を記入する。

※「その他」に繰越金以外のものがある場合は、内訳欄に金額の内訳を記入する。

※繰越金がある場合は、支出に「繰越金」として金額を記入する。